



角谷製菓株式会社
代表取締役

角谷 隆政さん



かへの旨味をたっぷり凝縮！
一口食べると口の中に香ばしい
かへの香りが広がる。



JCI授賞式の様子。今やドイツやベル
ギー等の海外では、カチッパ※的な感
覚で楽しまれているとか。
※一口大のパンやクラッカーなどに、
チーズや野菜などをのせた料理



食材、時間、手作りにこだわりぬいた
但馬から世界に発信する商品づくり

角谷製菓株式会社

[所] 豊岡市気比4614 TEL.0796-28-2140
◎直売店「角谷藤兵衛」、ネット通販などで購入可能
<http://www.kakutani-seika.co.jp/>

DATA

機械化が進む中、最終的にはこだ
わりの食材と手間ひまかけることに
よって付加価値を付けた良質な商品
を生み出す。そんな食を通して笑顔
に接することを理念としている。

「日本をほおばれ」をコンセプトに
取引先に応じた、その土地の具材を
使用。「日本の食文化の中心は米。
どんなに高価で良いとされる米より
も、自分が育った地域の米が何より
も、ごちそうだと考え、その土地で愛
される地元のものを使用しています」
と、特に地域性を重要視している。

また「ほんまもの」かに煎餅を

松葉かへの水揚げ漁港
として有名な「津居山港」
の近くに位置する「角谷製
菓株式会社」。

昭和21年の創業以来、
「手作りこそが最高の調味
料」と信じて「お餅・おこわ
かに煎餅」を三本柱に、地
域が誇れる商品づくりを
目指している。

「人の手で丹精込めて作
るものが本当の味だと思っ
ています」とは、4代目代
表取締役の角谷隆政さん。

水と日本海から流れ込む浜風、そ
して人の心。この土地あつての商品づ
くりができていると話す角谷さん。
先人たちの技術を大事にしなが
ら、時代に応じたものづくりを目指す。

「地元の方が手土産として外へ持
て行き、そこでひとつのコミュニティが
生まれる。さらに、商品を見たら豊
岡や城崎という名前が出てくるよう
な商品を作り、世界へ発信してい
きたい」と語るその眼差しからは、地元
を愛する強い想いが感じられた。

徹底的にこだわって作りたい」と、長
年の研究の末「熟成二度焼きかに煎
餅」かなめを完成させた。

生地の上以上に本ズワイガニの
身が練り込んであり、焼き方も一度
焼成したものを10日間寝かせ、二度
目の仕上げ焼成をする当社独自の
「熟成二度焼製法」を取り入れてい
る。二度熟成させることにより、味の
深みやコクが生まれ素材の味が際立
つのだと言う。

さらにコウノトリ育む農法で栽培
された米の米粉を入れることによ
り、サクサク食感と膨らみを出し、よ
り食べやすい煎餅に仕上げている。

これらのこだわりが認められ「五つ
星ひょうご」や「モンドセレクション」、
さらには「ITQi（国際味覚審査
機構）優秀味覚賞」にも選ばれてお
り、海外でも評価が高い。

竹中司法書士事務所

●不動産登記 ●商業・法人登記 ●相続 ●裁判事務



司法書士・行政書士
竹中 博司
TEL. **0796-23-4111**
FAX. 0796-23-4161
MAIL. takenakashiyouji@sage.ocn.ne.jp

司法書士 中田 治子
司法書士 松岡 英樹

餅屋のこだわり
お鏡餅・紅白餅・赤飯
ご使用の用途に合わせて製造致します。

角谷製菓株式会社
〒669-6124 兵庫県豊岡市気比4614
電話：0796-28-2140 FAX：0796-28-2332

ぷらっとミュージアム

知っているようで知らない、あなたの町のミュージアム。お散歩がてら、ぷらっと寄ってみませんか？



はまさかせんじんきねんかん いめいてい

Vol.9 浜坂先人記念館 以命亭



企画展も開催しています！
お気軽にお立ち寄りください！
但馬郵便局長会写真展
6月6日(土)～6月24日(水)
但馬山岳写真会二人展
8月29日(土)～9月23日(水)
日本の山岳パノラマ写真展
9月26日(土)～10月4日(水)



案内をしてくれた川夏さん

以命亭の由来

以命亭は二代目奥右衛門が
天明2年(1782年)に屋敷の
裏庭に建てた隠居部屋のこと。



「以命」の意味 中国の古書「礼記」より

君子は易に居りて以て命を俟つ。
小人は險を行いて以て命を俟つ。

からとったもの。
立派な人間はどんな状況に置かれても、安らかな
状態で自分のやるべきことを行い、運命の成敗を
待つことができる...というように意味。



森家の当主たちはそれぞれが
身に付けた学問分野で以命を
解釈し、生活をしていました。

森 梅園 Baiken Mori

1838～1920

6代目・奥十郎の弟で、本名は
森周一郎。幕末から大正時代
を生き、池田草庵に学ぶ。明治
2年に旧浜坂町に私塾味道館
を設立。鳥取・東京にも味道館
を開館し、漢学・儒学の教育
にあたり、その門弟は1000
人を越すといわれている。



森 藍尾 Ranbi Mori

1784～1822

4代目当主。本名は近三郎。国学に専念し、特に俳諧の道を究
め、俳名を藍尾として活躍。地域に文雅の風を高めた。幼い頃
から病弱で39歳の若さでこの世を去る。

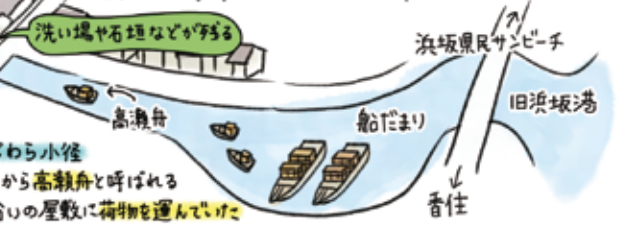
家督をゆずって俳諧に
没頭したい...
という内容



俳諧を愛した藍尾だが
当主としての責任もあり
俳諧だけに専念することは
許されなかった。藍尾が
使っていた机の中には自らの
心境が記してある。

残念なことにこれを
記した3年後に
この世を去ったそう...

先人紹介コーナーでは新温泉町の偉人に出会えますよ！



浜坂先人記念館
以命亭
[所]新温泉町浜坂1208
[時]9:00～17:00
*入館は閉館30分前
[休]木曜(祝日の場合は
翌日)、12月29日～1月
3日 [料]大人200円、
小人100円
TEL.0796-82-4490

新温泉町浜坂・味原川に沿って石
垣並みが続く「あじわら小径」。その
角に佇む「浜坂先人記念館 以命亭」
は、江戸時代に浜坂村の庄屋を務
め、約300年9代に渡って商業と酒
造業を営んでいた七釜屋森家の家屋
を改修したもので、浜坂の歴史や文
化を伝える史料館となっている。
のれんをくぐると、吹き抜け天井
や杉玉のかかる土間、太い梁などの
空間が広がり、タイムスリップしたか
のような気分になる。
二般的な江戸時代の庄屋に比べ
て、森家は文化的な活動をしていた
文人や教養人が多いのが特徴です。
とは館長の川夏晴夫さん。森藍尾
コーナー、森梅園コーナーをはじめ、江
戸や伊勢、出雲、四国など全国を旅
した紀行文や地図、書画類などが多
く展示されており、当時を偲ぶこと
ができる。
新温泉町ゆかりの先人たちが紹介
されているコーナーも充実。あじわら
小径を散策しながら、時間を忘れて
ゆつくりと過ごすしてほしい。

あなたの「想い」をカタチにする。

岩見印刷は印刷を中心にweb制作やカーマーキング、販促ツールなどさまざまな広告媒体の制作を承っております。用途に合わせた最適なメディアのご提案をいたします。

●お問い合わせは

岩見印刷株式会社 本社 / 〒669-5321 兵庫県豊岡市日高町土居 67-1 URL / <http://www.iwami-hidaka.co.jp/> ☎ 0796-42-1200